

Newsletter

 日本教育情報学会
JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

No. 1 1985. 7. 18

=====
事務局：〒158 東京都世田谷区等々力6-39-15 産業能率大学企画室内
日本教育情報学会運営本部事務局 TEL (03) 724-8993
=====

創立総会 記念講演会のお知らせ

- * 創立総会 日 時 昭和60年7月25日(木) 午前10時30分~12時
場 所 科学技術館地下講堂(東京都千代田区北の丸公園2-1)
- * 創立記念講演会 日 時 昭和60年7月25日(木) 午後2時~5時
場 所 九段会館(東京都千代田区九段南1-6-5)
- 講演会 1. 「これからの学校と学習指導法」東洋・東京大学教育学部教授
2. 「情報社会と生涯教育」猪瀬博・東京大学教授、電子通信学会会長
3. 「教師・子ども・親と教育」若林繁太・前篠ノ井旭高校長

日本教育情報学会に期待する

安藤 一郎

教育情報の流通は、私のような教科教育の研究をしている者にとっては、1つの大きな夢でありました。なかでも、教材に関する情報は、教科の研究、指導にあたって最も基本的な資料であり、これが、整備されていなかったために、どれだけ、大きなロスをしてきたかわかりません。これらの情報が、研究者や教師の共有資産として活用できるようになれば、教育研究のみでなく、広く教育実践に及ぼす影響は、大きいと期待されます。とくに、教育の個性化、個別化と言っても、それを援助するための教材資料の整備充実、活用の方法の開発が重要であります。それらの整備すらされていないのが現状で、とても、多くの要望に適應できる状況ではないと思います。

このような教育情報の収集、蓄積、流通さらに活用について研究を進める学会の設立は、教科教育の研究者にとっても必要であり、大変待ち望んでいたことであります。今後開拓すべき方向として本学会が中心になり、各学会・関係機関、研究者、教師のご協力により、まず、全

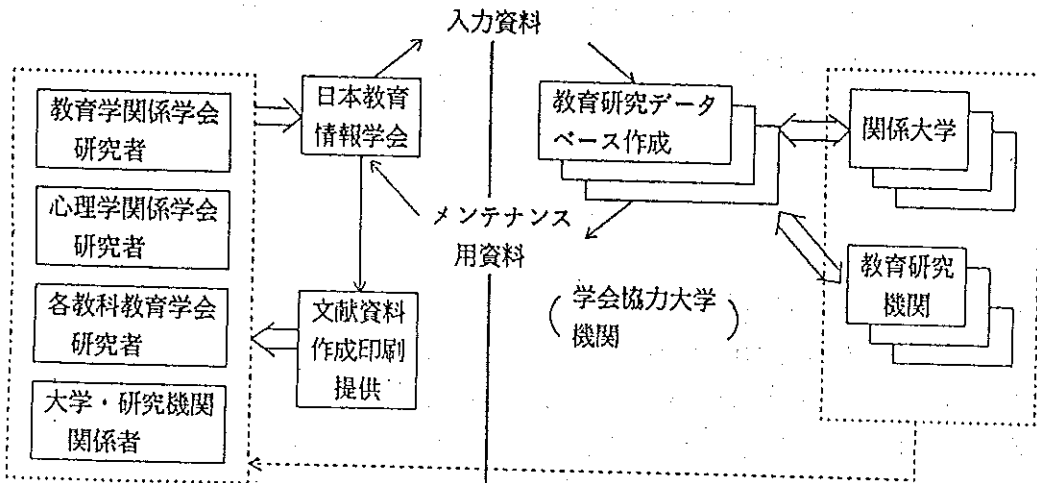
.....
会費は、日本教育情報学会運営本部事務局(産業能率大学企画室内)へお願いします。

国的に情報を流通させるための研究を進められることを期待しています。とくに、教材の流通にあたっては、教材の管理、学習特性の表示法、著作権問題を始め、各種の研究すべき課題が多く、また、各教科教育の研究者や教師の協力が必要であり、今までの枠組にとらわれない本学会が中心になり進められることが、今後教育情報のネットワークの構成にあたって重要であると思います。

また、高度情報社会へ入ろうとしている現在、この教育情報の流通に関する研究は、今後の教育内容・方法に深く関係してくると考えられます。ぜひ、この学会が単なる情報の流通、活用についての研究に終ることなく、情報化社会において学習情報の活用についての評価を行い、そこから学校教育の教育内容、方法を始め、今後の教育システムの在り方にも研究を進められることを期待しています。

一方、現在の教育情報で最初に流通を進めることのできる一つとして、教育研究文献情報があります。これらは、すでに、多くの研究者のご協力により、国立教育研究所、岐阜大学でも

〈日本教育情報学会支援による教育研究文献情報流通システム構成の提案〉



- ・日本教育情報学会会員の協力者（関係学会、研究者により、教育、心理、各教科の文献資料の収集、評価、キーワード、抄録の作成等を行う。
- ・登録された文献資料の適否の評価、修正等のメンテナンスを行うため、データベースに新しく登録された資料を印刷し、その検討資料を関係学会・研究者に提供する。

- ・日本教育情報学会より提供された文献資料を用いてデータベースに登録する。
- ・登録されたデータのメンテナンスを行うため資料を出力し、学会へ提供する。
- ・作成された文献データベースは必要に応じ、大学、教育研究機関に提供し、全国で文献検索ができるようにする。

教育研究データベースの作成を進めてきましたが、文献資料の収集、管理、流通に当っても、多くの問題を抱えて困っています。

私どもとしては、まずこの問題を解決する学会になっていただければと期待しています。私案ですが、その一つとして図に示すように、この日本教育情報学会が多くの他の学会、研究者等のご協力を得て、教育研究情報を収集、評価をおこない、それが本学会を通じて大学、教育研究機関へ提供できるまでに、教育研究文献データベースの作成を行いたいものです。また、そのメンテナンス用の資料を本学会を通じて関係者に配布し、よりよいものに修正されることを望みます。教育研究情報が各分野で分散し、分担協力しながらそのキーワード、抄録作成を進めることは、情報流通の健全な発展のために大きな意義があり、その実現が期待されます。

このように本学会を中心として、文献資料を収集し、その二次情報が国立教育研究所、筑波大学、関係大学・機関を通じて、広く研究者を始め各教育研究所、センター、学校、教師、教育行政関係者の方々が利用できるようになることが、手塚晃教授を座長としてまとめられた「教育情報センター構想」を進めることにもなると思います。

さらに、できることならば、教育調査・統計情報、教育行政情報の流通なども本学会としても取りあげていただきたい。これらの情報は、多くの解決しなければならぬ資料公開の条件、制約もあると考えられるが、それらを検討し、望ましい方法で流通ができるようになれば、教育研究に大いに活用されるでありましょう。また、同様に広く教育に関係する裁判の例についても、この学会でぜひ取り上げていただきたい情報である。これらは、教育研究のみでなく、広く教師にも利用できるようになれば、教育行政、日常の教育活動、教師教育の面からも重要な資料となると思います。現在の教育現場の実情から考えてもこの課題に取り組む必要性は高く、ぜひこの学会で研究を進めていただきたい1つであります。

また、情報は1人で作られるものではなく、日本の教育情報流通の発展には、学会長を中心として多くの会員の方々1人1人のご協力が最も重要になると思います。

一方、教育情報の国際交流を考えたとき、海外への日本の情報の提供および海外の教育情報の活用を促すことは、この学会の役目として大変重要な事業になろうかと思えます。たとえば、ERICのような文献情報のデータベース等についての利用を進めてこられた方々にご協力いただき、海外情報活用の教育もこの学会の事業として取り上げていただきたい。

米国と比較して、我が国の教育で教育情報の流通システムの構成ほど遅れている分野は他にあまり例がないと思えます。ぜひこの学会が国際的にも、また、国内的にも教育情報の流通システム構築の推進役になることを期待しています。

(岐阜大学教育学部カリキュラム開発研究センター長)

学校教育情報の研究について

〈学校教育におけるコンピュータの教育利用を前提に〉 有 園 格

教育情報学会が設立され、そこで何の研究が行なわれるかとの質問をよく受けるため、学校教育と関連した研究事例を私なりにまとめてみました。とくに、学校教育において、情報流通・処理の中心となるであろうコンピュータの利用を前提として項目をあげてみました。このため、教育情報の全体についてはありません。多くの方々の御意見をお願いすると同時に、ぜひこれらに関連した研究について広く本学会での研究会、学会誌に発表・報告をしていただくことを期待しています。

(1) 学校経営における情報管理システムの構築

- | | |
|------------|-----------------|
| ①学校経営と情報管理 | ④時間割作成とカリキュラム運営 |
| ②人事及び物品の管理 | ⑤カリキュラムの管理と情報提供 |
| ③文書管理・事務 | ⑥学校事務の管理 |

(2) 教科教育の内容と教材開発

- ①各教科のCAIソフトの開発
- ②CAIソフトの診断と評価
- ③CAI教材と一般ソフト教材（自主教材）の併用システムの開発
- ④地域教育センターの教材開発と地域内学校の教材収集ネットワーク化
- ⑤評価教材の開発と診断
- ⑥教材・文献データの収集と蓄積・提供

(3) 授業システムの開発と授業計画

- ①個別学習とコンピュータ利用
- ②事前指導と児童・生徒の実態把握の方法
- ③授業過程における評価とコンピュータ利用
- ④事後指導における評価・診断

(4) 教授行動の分析と評価（教師教育）

- ①教師の授業計画のチェック
- ②教師の発問
- ③教師の専門職性と専門職意識の調査と判別
- ④教師の職能成長の記録と管理

(5) 児童・生徒の実態把握とデータの蓄積

- ①児童・生徒の学習成績
- ②児童・生徒の健康管理（健康診断、体力診断、運動能力等）
- ③生徒指導のためのチェック事項と診断法（生活点検等）
- ④教師対児童・生徒の人間関係（意識調査法の開発）
- ⑤児童・生徒の人間関係調査（たとえば、ソシオメトリックによる検査と診断）

⑥ YG 性格検査等の心理テストと診断法の開発

(6) 地域教育計画と情報ネットワーク化に関する研究

- ①生涯教育構想(社会教育を含む)と学校の役割
- ②学校間ネットワーク化と社会教育の役割
- ③教育情報サービスについての研究
- ④図書館・公民館・博物館情報とその利用システム

(7) 教師教育(教員養成問題)

- ①コンピュータ教育利用についての講座内容とその位置づけについて
- ②養成課程における教育方法としての教育工学の位置づけ
- ③教科教育におけるコンピュータソフトの取り扱いについて

(8) 教師教育(現職教育)

- ①コンピュータ教育利用についての研修体系
- ②教育文献情報の検討と活用について(学校における)
- ③コンピュータソフトの活用と自主教材の運動について、そのマニュアルの作成
- ④校内におけるコンピュータ導入のマニュアル

(9) 教育委員会・研修センターとコンピュータの教育利用について

- ①研修体系
- ②職能開発と管理運営
- ③教材開発と管理運営
- ④情報の共同利用システムの開発
- ⑤社会教育活動とコンピュータの教育利用について
- ⑥視聴覚ライブラリーの管理・運営とサービス

(10) 青少年問題

- ・情報化社会の中の青少年文化と青少年の意識
- ・幼少期におけるコンピュータとの接触と教育の問題
- ・発達段階とコンピュータリテラシー
- ・コンピュータによる遊びと創造性教育
- ・青少年文化(児童文学・児童会館・演劇等)の情報収集と提供

(11) 特殊教育問題

- ・特殊教育部門におけるコンピュータ利用分野の研究
- ・各種症状に応じたデータの収集と入力, 活用
- ・トレーニングとしてのコンピュータ利用
- ・交流教育の実践研究成果の情報収集と処理
- ・医療機関と特殊教育学級等との情報流通システム

(1 2) 教科書の研究

- ・教科書の用語の研究
- ・学年段階における語い学習状況
- ・基礎・基本的事項の分類

(1 3) 進路・入試問題（高校・大学）の収集と分析と傾向

- ・各県高校入試の収集と分析
- ・進路指導に関する情報

(1 4) 教育情報公開・著作権等の問題

- ・情報公開の原則とプライバシー問題の研究
- ・ソフト教材の開発と著作権の問題
- ・ハードウェアに関する研究

(1 5) 生涯教育と学校教育

- ・教育情報の流通と生涯学習の研究
- ・生涯学習と学校教育の関係
- ・教育情報流通と教育システムの関係

(1 6) 教育研究情報の流通

- ・教育研究・実践文献資料の収集・評価・蓄積と提供
- ・教育情報流通のためのソースの開発
- ・教育情報流通システムの開発

〈学校教育情報研究部会の研究組織の提案〉

教育情報として上記学校教育における研究を進めるためには、次のような研究部会の組織が考えられます。

教育課程情報

教科教育学研究情報	国語教育情報	数学教育情報
社会科教育情報	歴史教育情報	地理教育情報
公民教育情報	理科教育情報	生物教育情報
地学教育情報	化学教育情報	物理教育情報
外国語教育情報	美術教育情報	音楽教育情報
技術科教育情報	家庭科教育情報	保健体育教育情報
特別教育活動情報	特殊教育情報	幼児教育情報
生徒指導情報		

教育経営情報

教育計画情報	教育環境情報	教育調査情報
教育メディア情報	学校経営情報	教材開発情報

授業設計・評価情報	教育工学資料情報	コンピュータ利用情報
<u>教師教育情報</u>		
教員養成情報	現職教育情報	
<u>生涯・青少年教育情報</u>		
生涯学習研究情報	婦人教育研究情報	青少年教育情報
家庭教育情報		
<u>教育情報国際流通</u>		
海外教育研究文献情報	海外教育実践研究情報	海外教材情報
教育情報国際交流		
<u>教育研究・実践資料情報</u>		
教育実践報告情報	教育研究文献情報	教育史研究資料情報
教育シソーラス		
<u>教育情報流通システム</u>		
文献情報管理流通	教材情報管理流通	教育実践資料流通
教育情報ネットワーク	学習データ情報	著作権・人権研究情報

学校教育情報研究部会でこのような分野で教育情報に関する研究が進めばよいと考えています。(日本教育新聞社編集局長)

「教育研究文献情報の寄贈のお願い」

日本教育情報学会活動の1つとして、教育研究文献データベースの作成があります。このために、各学会、大学・研究機関に学・協会誌、研究報告等の文献資料の提供をお願いします。現在、本学会また、関係大学等で、全ての研究誌を購入する予算がありませんので、大変勝手を申し上げますが、できれば1984年(昭和59年)以後の学・協会誌、大学、教育研究機関の研究報告の寄贈をお願いします。(次回に登録されていない学会誌を報告しますので、ご提供下さるようお願いいたします。)

尚、送り先は、ここしばらくは下記へお願いします。

〒501-11 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学教育学部
カリキュラム開発研究センター
教育研究文献データベース係(興戸) TEL(0582)39-7224

「教育研究文献資料のキーワード、抄録についてのお願い」

教育研究文献資料のキーワード、抄録等を会員の方の中からそれぞれの専門分野の方々にお

願いし、我が国の教育研究に関する文献情報の流通システムを構成していきたいと考えています。キーワード、抄録作成は新しい文献以外に、下記のようにすでに関係大学・研究機関でデータベースに登録されている文献に対しても協力をお願いします。

尚、これらの文献資料は、国立教育研究所、筑波大学、その他の機関で検索できるように整備する予定です。(現在、その一部は検索可能になっていますので、それぞれの利用規程にそって御利用できます。)

*** 教育研究文献入力状態 *** EDMARS-GIFU

	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度	昭和59年度	計
教育学	470	1,382	2,482	1,880	6,214
心理学	650	3,311	4,000	351	8,312
教育工学	1,950	2,044	1,088	1,271	6,353
教科教育	4,540	22,571	8,426	6,426	41,963
大学関係紀要	570	1,016	5,003	5,053	11,642
教育実践	1,800	179	110	11,343	13,432
計	9,980	30,503	21,109	26,324	87,916

心理学に関しては、

心理学関係研究誌文献目録 日本教育新聞社 (約720頁)
1945~1983年

として、昭和60年7月25日に出版いたします。

また、1984年の学校教育関係の研究文献目録も関係者の協力により、本年の9月には印刷し、関係学会員の方に提供する予定です。

「保健・体育関係研究誌文献目録」を昭和60年10月に出版する予定です。

【研究部会の連絡先について】

学校教育情報研究部会 日本教育新聞社内 (03)461-4441

〒150 東京都渋谷区恵比寿西2-17-21

大学・産業界教育情報研究部会 産業能率大学企画室内 (03)724-8993

〒158 東京都世田谷区等々力6-39-15

ニューズレター編集にあたって

本学会のニューズレターの編集の依頼が突然あり、近くの方に原稿をお願いしたのが実情です。このため、今回は学校教育関係の方々をお願いすることになってしまいましたが、次回は、企業内教育、社会教育の方々にぜひ本学会に対する御意見をお願いします。(興戸)